

法人の歩み

2000 年度（平成 12 年度）

- 4 月 介護保険制度が開始され「星ヶ丘保健介護センター」を設置
- 3 月 愛星福祉会が精神障害者生活訓練施設北天寮を開設
- 3 月 統合カリキュラム初の卒業生が国家試験合格（看護師 100%、保健師 89%）（ポラリス保健看護学院）
- 3 月 病床数 570 床へ変更（星ヶ丘病院）
- 日本医療機能評価機構の第三者評価を受審し認定取得（星総合病院）
- 二次救急病院としてコメディカル 24 時間当直体制整備、救急処置室改修（星総合病院）
- 臨床検査システム迅速化、県内初の病理検査支援システム導入（星総合病院）
- 接遇マナーガイドブック「まごころ伝えよう」を制作（法人）
- ボランティアサークル「あゆみの会」を発足（星総合病院）

2001 年度（平成 13 年度）

- 4 月 定員 70 名の大規模精神科デイケアを開設（星ヶ丘病院）
- 10 月 新人事制度「職能資格制度」を導入し一部に人事考課を実施、「目標管理制度」を開始、退職金制度をポイント制へ移行（法人）
- 12 月 郡山市向河原地内に新病院用地約 14,000 坪を取得（法人）
- 職員教育充実のため「自己啓発助成制度」「研修休職制度」を創設（法人）
- 「どこでも健康教室」「育児支援活動計画」を開始（法人）
- 国のがん克服戦略事業拠点に認定され、東北初の「がん遺伝外来」を設置（星総合病院）

2002 年度（平成 14 年度）

- 4 月 臨床研修病院の指定を受ける（星総合病院）
- 8 月 新星総合病院設立準備室を設置（法人）
- 12 月 精神病院として病院機能評価認定を全国 9 番目に取得（星ヶ丘病院）
- 「健康管理センター」を設置、新採用職員向け健康教室、産休育休職員向け「ランチョンママセミナー」を開始（星総合病院）

2003 年度（平成 15 年度）

- 4 月 職能資格制度の充実を図り、人事考課対象者を拡大（法人）
- 4 月 患者・利用者の意見・要望を得ることを目的にフリーダイヤルを導入（星総合病院）
- 4 月 各職域に教育担当者の配置と能力開発制度 HODAS を策定（法人）
- 6 月 事業計画・決算報告をホームページで公開（法人）

2004年度（平成16年度）

- 4月 卒後臨床研修制度を開始（研修医4名）（星総合病院）
- 4月 医療安全管理センターを設置し専任リスクマネージャー配置（星総合病院）
- 4月 敷地内全面禁煙を実施（星総合病院・星ヶ丘病院）
- 4月 健診室を部として再編（法人）
- 5月 精神障害者小規模作業所ピアステーションシリウスがNPO運営認可を受け活動開始
- 10月 心療内科を標榜し金曜夜間診療を開始（星ヶ丘病院）
- 10月 外来患者の氏名呼び出しを希望制とし、入院患者の外来ホール立入を制限（星ヶ丘病院）
- 11月 電子カルテシステム稼働（星総合病院）
- 12月 診療情報管理センターを設置し専任診療録管理士配置（星総合病院）
- 12月 保育室増築が竣工（星ヶ丘保育園）
- 3月 既存施設を取得し南棟増設（星総合病院）

2005年度（平成17年度）（開設80周年）

- 6月 向河原地区の新病院建設用地所有者が決定し顔合わせ、7月に建設委員会初会合（法人）
- 7月 事務局として第17回日本看護学校協議会学会を郡山市で開催（ポラリス保健看護学院）
- 8月 第1回病院モニター会議を開催（星総合病院）
- 10月 第1回業務改善報告会を実施（星総合病院）
- 10月 介護保険制度変更に伴い料金見直しと説明会を開催（オリオン）
- 11月 退院支援調整室を設置（星ヶ丘病院）
- 11月 病院機能評価を受審・更新（星総合病院）
- 1月 1入院1診療録方式へ変更（星総合病院）
- 1月 次世代育成支援企業として福島県認証（法人）
- 1月 高度専門士称号が認可され、平成17年度卒業生から適用（ポラリス保健看護学院）
- 2月 労使懇談会を開催し賃金改定方針と再雇用制度制定を決定（法人）
- 2月 新星総合病院予定地周辺で遮水壁工事を開始（法人）

2006年度（平成18年度）

- 4月 新星総合病院三者協議会を開催し遮水壁工事を4～5月に実施、商業地は5月起工式（法人）
- 4月 芳賀・小原田地域包括支援センターを開所
- 4月 受診促進を目的に夜間診療の名称を「ストレス外来」に変更（星ヶ丘病院）
- 5月 三春町議会にて町立三春病院の指定管理者に決定（法人）
- 6月 町立三春病院運営準備室を設置（法人）
- 6月 老人性認知症疾患治療病棟認可（星ヶ丘病院）
- 2月 外来者へ禁煙啓発を実施し4月からの分煙案内を掲示（星ヶ丘病院）
- 3月 地域医療支援病院に承認（星総合病院）

2007 年度（平成 19 年度）

- 4 月 開院式と祝賀会を開催（三春病院）
- 4 月 渡辺直彦医師が病院長に就任（三春病院）
- 4 月 星二郎病院長から沼田吉彦病院長に交代運営開始（星ヶ丘病院）
- 4 月 医療法改定により医療安全管理室を設置し各種安全管理責任者を配置（星総合病院・星ヶ丘病院・三春病院）
- 4 月 星総合病院と三春病院間で循環バス 1 日 5 往復運行開始（星総合病院・三春病院）
- 4 月 外来予約制を開始し予診を研修医・心理士が担当（星ヶ丘病院）
- 4 月 外来待合室の分煙を実施し病棟で禁煙タイムを開始（星ヶ丘病院）
- 5 月 DPC 実施病院募集に参加（星総合病院）
- 6 月 医学研究奨励助成規程を制定（法人）
- 6 月 年 2 回の院内学会開催を決定（法人）
- 7 月 外来患者の呼び出し方法を氏名または番号の選択制に変更（星ヶ丘病院）
- 7 月 NPO 法人ピアステーションシリウスの院内喫茶店「きらら」および営繕業務の立ち上げを支援（星ヶ丘病院）
- 8 月 男性育児参加促進事業の参加依頼を受け事業主宣言を広報（法人）
- 9 月 学院創立 30 周年記念講演会を開催（ポラリス保健看護学院）
- 11 月 病院機能評価を受審・更新（星ヶ丘病院）
- 1 月 三春町敬老園の指定管理依頼を受け実態調査を実施（法人）
- 3 月 三春町議会にて三春町敬老園の指定管理者候補者として決定（法人）

2008 年度（平成 20 年度）

- 4 月 専門外来として「もの忘れ外来」を追加（星ヶ丘病院）
- 4 月 精神科 CNS を配置し精神科およびセルフケアの体系的研修計画を策定（星ヶ丘病院）
- 4 月 三春町敬老園の指定管理に向け精神科医療提供を検討し月 2 回の往診を開始（星ヶ丘病院）
- 4 月 回復期リハビリテーション病棟立ち上げに向け打合せを実施し 10 月に東病棟 40 床で運用開始（三春病院）
- 5 月 新病院開院に向け備品移動および患者搬送を実施（三春病院）
- 5 月 郡山市内主要病院と地域連携クリティカルパスを協議し、8 月から脳卒中パス試験運用、10 月から大腿骨頸部骨折パスを星総合病院方式で運用
- 5 月 新病院が完成し開院式を開催（三春病院）
- 5 月 循環バスの停車場所を増加（星総合病院・三春病院）
- 7 月 三春町敬老園開設に向け運営準備室を設置（法人）
- 9 月 学則変更承認申請書を福島県へ提出し翌年 3 月に新カリキュラム運用が可能に（ポラリス保健看護学院）
- 9 月 新築移転グランドオープン（三春病院）
- 11 月 みはる病院まつりを開催（三春病院）
- 12 月 星一雄理事長から星北斗理事長へ交代（法人）

- 12月 星総合病院近隣に職員向け保育所を開所（法人）
- 2月 女性医師の産休・育休制度等をまとめた冊子を作成（法人）

2009年度（平成21年度）

- 4月 池田精宏病院長から木島幹博病院長に交代し院長補佐4名体制で運営開始（星総合病院）
- 4月 新型インフルエンザ対策会議を開催し海外渡航者対策・診察室確保・蔓延期対応を協議（以降毎月開催）（星総合病院）
- 4月 各科クリニカルパスをDPC向けに見直し開始（星総合病院）
- 4月 短時間勤務正規職員制度を導入（法人）
- 4月 新星総合病院の地区計画手法について郡山市と協議、市民署名約5万名分提出（翌年3月に追加署名約3,200名）（法人）
- 4月 退院準備SSTを開始し5月にC-SSTを開始（星ヶ丘病院）
- 4月 引継ぎ式を開催し11月に内覧会・新施設引き渡し式を実施（三春町敬老園）
- 5月 7対1看護を導入し申請（星総合病院）
- 5月 敷地内禁煙実施に向け院内掲示、11月に禁煙サポーターが啓発活動（星ヶ丘病院）
- 6月 女性医師等の社会保障制度パンフレットを完成（法人）
- 7月 診療群分類別包括評価制度（DPC）による入院費用の算定開始（星総合病院）
- 8月 HODASの内容を見直しブラッシュアップし第2版を完成（法人）
- 9月 地域連携クリティカルパス（大腿骨頸部骨折・脳卒中）運用開始（法人）
- 10月 生活資金貸付制度および退職慰労金前払制度を整備（法人）
- 12月 入院サービス課を設置し入院説明業務を開始、翌年3月に入院サービスステーションを1階に設置（星総合病院）

2010年度（平成22年度）（開設85周年）

- 4月 看護職員のナースキャップ等を試験的に外す（法人）
- 4月 1年単位の変形労働時間制から1ヶ月単位へ変更（法人）
- 4月 敷地内禁煙を実施し禁煙外来を開始（星ヶ丘病院）
- 5月 インドネシア看護師候補者受入れ支援会議を開催（法人）
- 5月 職員専用ホームページを開設（法人）
- 7月 向河原地区計画が都市計画審議会で承認、12月に開発許可申請・病院開設許可申請、翌1月許可、3月建築確認申請許可、26日に新星総合病院起工式（法人）
- 9月 病院機能評価を受審・更新（星総合病院）
- 11月 出産者へ子ども用木製イスのプレゼントを開始（星総合病院）
- 3月 東日本大震災発生後、入院患者を隣接倉庫へ避難し全員無事。その後星ヶ丘病院へ約100名、三春病院へ約100名転院。重症者46名を近隣総合病院へ搬送し医師・看護師を派遣（法人）
- 3月 新星総合病院建設の安全祈願祭を実施（法人）
- 3月 地域の医療機関等を対象とした「どこでもメディカルセミナー」開始

2011 年度（平成 23 年度）

- 4 月 小児科外来を近隣の保育所跡施設で開始（星総合病院）
- 4 月 手術が可能な体制を整備し 11 日より利用開始、5 月までに 64 症例を実施（三春病院）
- 4 月 敷地内に外来用プレハブ建設を開始、中央棟 CT を心カテ室に移設、他の CT を 5 月に星ヶ丘病院へ移設（星総合病院）
- 4 月 全職員の雇用確保のため組合と協議し基本給据え置きと一部手当支給停止を決定（法人）
- 4 月 星ヶ丘訪問看護ステーションに理学療法士 1 名を増員
- 5 月 新入職員 50 名の辞令交付式を実施（法人）
- 5 月 看護体制を 2 交代制に変更（星総合病院）
- 5 月 スプリンクラー整備特別対策事業の補助金を受け 12 月に工事完了（オリオン）
- 5 月 外来診療棟（プレハブ棟）を使用し外来診療を再開、西棟 185 床で入院患者の受入れを開始（星総合病院）
- 6 月 法人病床管理部を設置（法人）
- 6 月 二次救急病院の輪番制に復帰（星総合病院）
- 6 月 仮設住宅入居者への医療・保健活動のため「保健活動プロジェクト会議」を開催し沢石・実沢地区仮設住宅への訪問を開始（法人）
- 7 月 東日本大震災体験作文を募集し記念文集を作成（法人）
- 7 月 全病棟で 2 交代勤務を開始（法人）
- 8 月 星訪問看護ステーションを開設
- 9 月 ホームヘルパー 2 級講座開設が許可され翌年度より開講（法人）
- 9 月 原発事故に伴う住民一時帰宅事業の救護班を派遣（法人）
- 3 月 東日本大震災から 1 年を迎え大地震を想定した防災訓練を実施（法人）
- 3 月 新星総合病院サービス棟・リハビリ棟・立体駐車場の基礎工事に着手（法人）
- 3 月 公益財団法人への移行に向け評議員選定委員・推薦者・理事長・理事等を提案し可決、選定委員会で最初の評議員を選任（法人）

2012 年度（平成 24 年度）

- 4 月 公益法人移行申請を行う（法人）
- 7 月 新築移転の安全祈願祭を実施（ポラリス保健看護学院）
- 10 月 病院機能評価を受審・更新（星ヶ丘病院）
- 11 月 SPD 運用を開始（法人）
- 12 月 新星総合病院の内覧会を開催（来院者 5,417 名）（法人）
- 12 月 公益法人認定書の交付を受ける（法人）
- 12 月 法人名称を「公益財団法人星総合病院」に変更し運営開始（法人）
- 12 月 無料低額診療事業を社会福祉法第 2 種社会福祉事業として届出（星総合病院・星ヶ丘病院）
- 1 月 新星総合病院へ移転運営を開始（430 床）（星総合病院）
- 1 月 緩和ケア病棟の利用を開始（星総合病院）

- 1月 電子カルテシステムが新星総合病院で稼働、2月に星ヶ丘病院、3月に三春病院が稼働し3施設で患者情報を共有（法人）
- 1月 ほしのご保育園の運営を開始
- 2月 星総合病院と郡山消防署が協同防災訓練を実施（梯子車・ドクターヘリ訓練含む）
- 3月 病院機能評価認定を取得（三春病院）
- 3月 キャラクター「ほしくま」を診察券に採用（星総合病院・ほし横塚クリニック）
- 3月 ヘリポートの使用を開始（星総合病院）

2013年度（平成25年度）

- 4月 61～65歳の段階的定年延長制度を決定（法人）
- 4月 ほし横塚クリニックが診療開始、訪問看護ステーションと地域包括支援センターを施設内へ移転
- 4月 病院給食の見直しを実施（「日本一おいしい病院給食」を目指す）（法人）
- 4月 キャラクター「ほしくま」デザインの広報物（鉛筆・シール・名刺）を作成（法人）
- 5月 入院基本料7対1を算定（星総合病院）
- 7月 新ポラリス保健看護学院完成、星総合病院グランドオープン式典を開催（法人）
- 7月 メグレズホールに富岡町所有のグランドピアノを保管
- 7月 第1回病院モニター会議を開催（三春病院）
- 8月 認知症疾患医療センターを開設（福島県委託）（星総合病院）
- 星総合病院にて県民健康管理調査（甲状腺一次・二次検査）を開始

2014年度（平成26年度）

- 4月 平成23年5月入職者32名に特別手当を支給（震災による採用遅延対応）（法人）
- 4月 ほしくま絵本原作コンクールを実施（応募72作品、優秀賞1作品・佳作2作品）（法人）
- 4月 メグレズ友の会を設立（法人）
- 4月 退院支援調整室を設置し専従看護師を配置（星総合病院）
- 5月 救急病棟10床を開設（星総合病院）
- 6月 セカンドライフ準備休暇制度を施行（法人）
- 7月 三春訪問看護ステーションを開所
- 7月 かがやき健康館前広場で「あおぞら市」を開始（法人）
- 8月 三春町第1保育所の指定管理者候補者に選定
- 8月 うねめ祭り踊り流しに学院生・教職員が参加し大賞受賞（ポラリス保健看護学院）
- 9月 地域包括ケアシステムプロジェクト整形外科班が研究を実施（星総合病院）
- 10月 木島幹博病院長から野水整病院長に交代し運営開始（星総合病院）
- 10月 認知症初期集中支援推進事業を郡山市より受託（星ヶ丘病院）
- 10月 病院厚生年金基金脱退と確定拠出年金制度導入準備を開始（法人）
- 10月 食のプロジェクト「ジョイート プラス」を立ち上げ（法人）
- 1月 認知症サポーター養成講座を法人職員・取引事業所向けに実施（法人）

2015年度（平成27年度）（開設90周年）

- 4月 精神科外来を全日午前診療開始（星総合病院）
- 4月 三春町第1保育所の指定管理を開始（法人）
- 4月 慢性疼痛センターを設置（星総合病院）
- 5月 第2回ほしくま絵本原作募集を実施（応募36作品、佳作3作品）（法人）
- 6～7月 郡山市認知症施策「徘徊見守りSOSネットワーク構築」として講座を開催（受講1,284名）
- 7月 認知症カフェ（オレンジカフェ）を郡山市委託事業として開始（星総合病院）
- 7月 東北初の家族性腫瘍の患者家族会を発足（星総合病院）
- 7月 星訪問看護ステーションしずかを開所
- 9月 病院機能評価を受審・更新（星総合病院）
- 9月 救急の日イベントを郡山消防署と共同開催（参加者220名）（星総合病院）
- 10月 キビタン健康ネットの運用を開始（星総合病院）
- 10～11月 病院厚生年金基金脱退手続き完了、確定拠出年金へ移行（法人）
- 11月 看護師特定行為制度の申請手続きを実施（星総合病院）
- 12月 事業所内保育事業を開始（定員110名）（ほしのか保育園）
- 1月 アフタービクス利用者が2,000名を突破（かがやき健康館）
- 1月 地域包括ケアシステム導入に向け保健福祉部を在宅事業推進部へ改称（法人）

2016年度（平成28年度）

- 4月 法人内の保育園3施設が認可保育園となり園児数200名以上・職員数60名以上となることから、こども事業部を創設（法人）
- 4月 看護師特定行為研修を開講（星総合病院）
- 4月 「医療福祉建築賞2015」を受賞（星総合病院・ポラリス保健看護学院）
- 5月 JOY EAT+KITCHEN をオープン（法人）
- 5月 在宅事業推進部が早期退院・在宅移行の取り組みをオレンジクロス地域包括ケア実証開発プロジェクト成果報告会で発表（法人）
- 5月 第3回ほしくま絵本コンクール実施（応募19作品、優秀賞該当なし・佳作4作品）（法人）
- 7月 かがやき健康館プールの延べ利用者数が5,500件を超える（平成25年2月開始）
- 9月 郡山医師会より乳児院運営について照会があり、当法人が運営意向を伝える（法人）
- 11月 星ヶ丘保育園で事業所内保育事業を開始（定員60名）
- 3月 総合入院体制加算の算定を開始（星総合病院）
- 3月 指定管理を更新（三春病院）

2017年度（平成29年度）

- 4月 郡山市、厚生労働省と「多機関協働モデル事業」開始に向け打合せ（芳賀小原田地域包括支援センター）
- 4月 認知症カフェ「オレンジカフェ☆さくら」を開所（三春町委託事業）（三春病院）
- 5月 第4回ほしくま絵本コンクール実施（応募80作品、優秀賞1作品・佳作3作品）（法人）

- 6月 入退院センターを開設（星総合病院）
- 9月 若年性認知症支援相談窓口を開設（福島県委託事業）（星総合病院）
- 9月 福島県総合療育センターと看護職員相互派遣研修協定を締結（星総合病院）
- 9月 星訪問看護ステーションのサテライト化を進める
- 10月 福祉まるごと相談窓口を開設（郡山市委託事業）
- 10月 病院機能評価を受審・更新（星ヶ丘病院）
- 10月 郡山地区自衛消防操法大会2人操法で優勝（星総合病院）
- 11月 星総合病院2025プランを作成し県中地域医療構想調整会議へ提出
- 11月 認知症疾患医療センター全国研修会福島大会をメグレズホールで開催（参加者約300名、事務局担当：星総合病院）
- 12月 診療の質向上のためQM部を新設（星総合病院）
- 12月 認知症初期集中支援チームを設置（三春町委託事業）（三春病院）
- 1月 整形外科早期退院プロジェクト5例目の患者が術後7日で退院し在宅リハビリ等へ円滑移行
- 1月 病院機能評価を受審・更新（三春病院）
- 3月 スタインウェイ社グランドピアノを寄附金により購入しメグレズホールへ設置、富岡町から借用していたピアノを返却し返還セレモニーを実施（法人）

2018年度（平成30年度）

- 4月 渡辺直彦病院長から渡辺文明病院長に交代し運営開始（三春病院）
- 4月 公立小野町地方総合病院へ職員3名派遣協力を開始（病院長職・事務職・看護職）
- 4月 多世代交流地域拠点「大町キッズベース」を開所（参加者約300名）（法人）
- 6月 第5回ほしくま絵本コンクール実施（応募80作品、優秀賞該当なし・佳作2作品）（法人）
- 6月 乳がん健診用「ABVS乳腺エコー」を福島県で初導入、内覧会を開催（星総合病院）
- 7月 森慶秋施設長から大貫朱夏施設長に交代し運営開始（オリオン）
- 8月 星ヶ丘地区セントラルキッチンの運用を開始（法人）
- 9月 許可病床数を555床に変更（星ヶ丘病院）
- 10月 大町キッズベースで「キッズベースまつり」を開催（参加者約400名）
- 10月 遠隔病理診断システム（福島県病理診断ネットワーク）に参加（星総合病院）
- 11月 精神科病棟15床の運用を開始（星総合病院）
- 11月 病院バス「みんなのバス」を購入し地域住民へ利用を呼びかけ（法人）
- 11月 星総合病院「健診部」を「健康管理部」に改称し、健康管理センターを設置（法人）
- 1月 沼田吉彦病院長から竹内賢病院長に交代し運営開始（星ヶ丘病院）
- 1月 医療被ばく低減施設に認定（星総合病院）
- 1月 たむら市民病院の指定管理者に応募しプレゼン実施、候補者に選定（法人）

2019年度（平成31年度／令和元年度）

- 4月 三春町第2保育所の指定管理を開始（法人）

- 4月 田村市立都路診療所の所長として星総合病院医師が就任（法人）
- 4月 電子勤怠管理システムを導入し6月より全面電子化（法人）
- 7月 指定管理を開始（たむら市民病院）
- 7月 佐瀬道郎病院長就任（たむら市民病院）
- 8月 院外広報誌「懸虹」300号を発行（法人）
- 9月 ほしくま児童家庭支援センターを開所（福島県認可）
- 10月 台風19号により星総合病院が甚大な浸水被害、復旧計画を立案し15日から診療再開（星総合病院）
- 10月 自衛隊よりCT搭載車を借用、福島労働保健センターより健診バスを借用し健診業務継続（星総合病院）
- 10月 職員被害状況を把握し特別休暇付与・見舞金支給（56名）（法人）
- 10月 芳賀・小原田地区の被災者支援として炊出し延べ2,240食、巡回支援延べ16回を実施（法人）
- 1月 新型コロナウイルス感染症対策本部を設置（星総合病院）
- 1月 週休2日制へ移行し土日休診体制を整備、週5日勤務へ変更（法人）
- 2月 COVID-19感染対策特別チームを発足（星総合病院）
- 3月 帰国者・接触者外来および入院2床を受託（星総合病院）
- 3月 同一労働同一賃金整備に伴い就業規則等を改訂（法人）

2020年度（令和2年度）（開設95周年）

- 4月 週5日労働への移行に伴い1日の労働時間を7.5時間→8時間へ変更（法人）
- 4月 COVID-19（発熱）外来を立体駐車場に設置（星総合病院）
- 4月 1S病棟で新型コロナ患者受入を開始（星総合病院）
- 4月 田村市船引保育所の業務委託を開始（田村市委託事業）
- 5月 乳児院基本構想プロジェクトを立ち上げ9月に県の事業提案公募へ応募（法人）
- 5月 郡山市発熱外来を開始（星総合病院）
- 5月 マタニティクラスをオンラインで再開（星総合病院）
- 5月 テレビ電話による入院患者面会サービスを開始（星総合病院）
- 5月 遠隔授業を導入（ポラリス保健看護学院）
- 6月 分散登校を実施し対面授業とオンライン授業を併用（ポラリス保健看護学院）
- 6月 採用試験希望者向け説明動画を掲載、説明会をZoomで実施（約80名参加）
- 7月 令和元年台風19号水害からの復興セレモニーを開催（法人）
- 7月 キッチンカーを購入し地域での食育事業を開始（法人）
- 8月 COVID-19重点医療機関として指定（17床）（星総合病院）
- 8月 COVID-19精神科患者入院受入医療機関として指定（2床）（星ヶ丘病院）
- 8月～ 郡山市保健所へ1年間保健師を派遣（法人）
- 9月 水害に対する原状回復工事・恒久的止水対策工事が完了（法人）
- 9月 医事システムの患者ID統合を実施、10月稼働へ準備（3医療機関で相互参照可能に）
- 10月 電子カルテ更新、生理検査システム・歯科システムを新規導入（星総合病院）
- 10月 郡山市発熱外来診療所およびPCRセンターを受託（星総合病院）
- 10月 新型コロナ陽性患者受入を開始（三春病院）

- 12月 福島県重点医療機関整備事業により CT 機器を設置（星総合病院）
- 1月 郡山市が基本型接種施設に冷凍庫を配置しワクチン保管を実施
- 3月 郡山市集団新型コロナワクチン接種を開始（星総合病院・メグレスホール）
- 3月 田村市認可保育所新築工事を着工（法人）
- 3月 病院機能評価を受審・更新（星総合病院）

2021 年度（令和 3 年度）

- 4月 股関節・人工股関節センターを開始（星総合病院）
- 4月 郡山市民対象の新型コロナウイルスワクチン集団接種会場として運営支援を実施（星総合病院）
- 4月 感染対策に伴う新たなハイブリッド型授業形態を検討（ポラリス保健看護学院）
- 5月 田村市新型コロナウイルスワクチン集団接種を開始、医師・看護師を派遣（たむら市民病院）
- 6月 大町旧病院跡地開発計画に係る建築設計業務の指名競争入札を実施し株式会社日建設計を選定（法人）
- 7月 野水整病院長から渡辺直彦病院長に交代し運営開始（星総合病院）
- 7月 三春町集団ワクチン接種を開始（三春病院）
- 7月 第 5 波による保健所業務増大に対応し、疫学調査・健康観察目的で法人保健師を延べ 10 回（7 名）派遣（法人）
- 7月 開設 96 周年記念式典を開催、COVID-19 感染対策特別チームを表彰（法人）
- 8月 精神疾患を持つ新型コロナ陽性患者の入院受入を開始（星ヶ丘病院）
- 3月 星の森保育園が竣工しオープニングセレモニーを実施
- 星総合病院が YouTube・Instagram を開始

2022 年度（令和 4 年度）

- 4月 令和 4 年度診療報酬改定で感染対策が重視され、感染対策向上加算 1 を申請（星総合病院）
- 4月 星の森保育園開所（定員 150 名）
- 4月 ほしくまわくわくベースを大町に開所（法人）
- 4月 看護師特定行為研修の指定研修施設が 5 区分となり開講（星総合病院）
- 4月 星ヶ丘キャンプ場等設置プロジェクトを設置し第一期計画を策定（法人）
- 6月 旧星総合病院解体工事を着工（法人）
- 6月 感染対策向上加算 1 を届出、年 4 回の合同カンファレンスを開催（星総合病院）
- 6月 一般病棟で地域包括ケア病床 10 床の運用を開始（三春病院）
- 7月 感染管理認定看護師教育課程設置運営業者として選定され福島県と検討開始（法人）
- 10月 森東副理事長就任（法人）
- 10月 ほしくまあんしんベース船引を開所
- 10月 田村市ふねひき地域包括支援センターを開所（田村市委託事業）
- 10月 星訪問看護ステーションたむらを開所
- 10月 病院機能評価を受審・更新（星ヶ丘病院）
- 11月 感染管理認定看護師教育課程を内包する高度専門教育センターを開設
- 11月 第 100 回集談会を開催（法人）

- 1月 手術支援ロボット Mako による手術が 200 症例に到達（星総合病院）
- 2月 手術支援ロボットダビンチの手術件数が導入後 100 症例に到達（星総合病院）
- 3月 旧星総合病院既存建物の解体工事が完了（法人）

2023 年度（令和 5 年度）

- 4月 看護職の諸手当を見直し、夜勤手当増額・急性期対応手当を新設（法人）
- 4月 定例賃金改定を実施（一律 2,000 円増）（法人）
- 4月 大町新複合施設建設工事の安全祈願祭を開催（約 90 名参加）（法人）
- 4月 医師の「日当直に関する書類」について労働基準監督署と協議し認可（法人）
- 6月 急性期充実体制加算の施設基準が認可（星総合病院）
- 6月 病院機能評価を受審・更新（三春病院）
- 7月 キャンプ場第一期工事が終了し完成引き渡し、モニターキャンプで評価（法人）
- 9月 感染管理認定看護師教育課程を開講（法人）
- 9月 福島県依頼の「感染症危機に備えた医療措置協定等に係る事前調査」に回答
- 9月 三天の森冒険広場（キャンプ場）を開場、名称は職員公募で決定（法人）
- 10月 福島県立乳児院の指定管理者選定委員会でプレゼンを実施、全会一致で選定（法人）
- 10月 NPO法人ピアステーションシリウスがシリウスたむらベースを田村市船引保健センター内に開所
- 11月 地域包括ケア病床への一部転換（12 床）が承認（たむら市民病院）
- 12月 星訪問看護ステーションサテライトしずかを閉所
- 1月 PFM センター（患者総合サービスセンター）を設置（星総合病院）
- 3月 ほしくまわくわくベースを閉所

2024 年度（令和 6 年度）

- 4月 医師の働き方改革制度として A 水準（年間時間外 960 時間以内）を申請、法人内医療機関も同様に申請
- 4月 地域医療連携・総合相談・入退院部門を一元化し入退院支援センターへ改編（星総合病院）
- 4月 2 台目の手術支援ロボット Mako を導入（膝関節手術対応）（星総合病院）
- 4月 新型コロナウイルス感染症の記録誌が完成（法人）
- 4月 副院長が就任（たむら市民病院）
- 5月 臨床倫理コンサルテーションチームを立ち上げキックオフミーティング（星総合病院）
- 6月 ほしのご保育園で ICT システム導入（登降園管理・連絡等）
- 8月 田村市により新たむら市民病院の安全祈願祭を実施（令和 8 年 6 月竣工予定）
- 10月 回復期リハビリテーション病棟を開設（星総合病院）
- 10月 精神科急性期治療病棟を 1 病棟 60 床運用へ（星ヶ丘病院）
- 10月 回復期リハビリ病棟を療養病棟へ転換、その後休床（三春病院）
- 10月 地域包括ケア病床を 10 床→15 床へ変更（三春病院）
- 11月 整形外科連携感謝祭を開催（星総合病院）
- 11月 高度専門教育センター第 1 回生 16 名が認定試験受験、15 名合格

- 11月 居宅介護支援事業所星ヶ丘を閉所（星総合病院在宅介護支援センターとの合併）
- 3月 おおまちてらすのオープニングイベントを実施（法人）
- 3月 施設老朽化のため閉所（オリオン）
- 3月 ほし横塚クリニックを建物破損のため閉所、令和7年度に大町新複合施設へ移行
- 3月 星訪問看護ステーション・在宅介護支援センターを大町ベースへ移転
- 3月 精神科病棟を再開（星総合病院）
- 3月 病床管理システム「コマンドセンター」の導入を決定（星総合病院）